



天津っ子

~Amatsu with your smile~

*「天津っ子」は本校HPでご覧いただけます。「天津っ子」で検索してください。 真庭市立天津小学校

子供の生活力を高める

子供たちが、将来自立して生きていくための生活力を培うことが、家庭と学校に求められている大きな役割のひとつです。では、どんな場面で、子供の生活力を高めることができるでしょうか。

- ① 子供には自分自身の基本的なケアを行う能力を身につけさせることが重要です。食事の準備や整理整頓、衣服の選択や洗濯など、日常生活の中で自分自身を管理できるようにサポートすることが大切です。
- ② 子供には日課やルーティンを作ることで、時間管理や予定を立てる能力を養いましょう。学校への出席、宿題の管理、遊びやスポーツのスケジュールなど、定期的な活動を通じて責任感を身につけます。
- ③ 子供にはお金の価値や管理方法を教えることが重要です。小遣いの管理や貯金、予算立てなどの経済的な基礎を教え、物事の価値や節約の大切さを理解させましょう。
- ④ 子供が他人との関係を築き、協力し合えるようにするために、良好なコミュニケーションスキルを身につけることが必要です。相手を尊重し、適切な言葉や態度で自分の意見を伝える方法を学ばせましょう。
- ⑤ 子供には問題解決能力を養うことが重要です。困難な状況に直面した際に、自分で解決策を考え、実行できるようになることが求められます。情報を収集し、選択肢を検討し、最良の解決策を見つける方法を考えさせましょう。
- ⑥ 子供には健康と安全に関する基本的な知識と習慣を身につけさせることが重要です。適切な食事、運動、睡眠の重要性を教え、安全な行動や危険回避の方法を理解させましょう。

この①から⑥の内容は、家庭教育を中心に培っていくことですが、日々の小学校生活自体が、子供たちの生活力を高める場になっています。特に、5・6年の「家庭科」は、生活力と直結しているとても重要な学習といえます。

1学期もあと登校する日は11日ほどです。7月20日(木)からの夏休みは、子供の生活力を高めるチャンスです。



不審者対応避難訓練

6月28日(水)、不審者対応避難訓練を実施しました。1年生教室に不審者が侵入したという想定で行いました。不審者役の真庭警察署スクールサポーターの白飯さんが、事前に1年生の子供たちに、「おじさんにタッチされないように 逃げよう。」と話されていたので、訓練が始まると、1年生の子供たちは、真剣な表情で、素早く教室から職員室へ避難することができました。訓練後は、体育館で、白飯さんと落合駅前駐在所の大谷さんから、「いかのおすし」の合い言葉を中心に、不審者にもしも遭ってしまったらどうすればよいかについて教えていただきました。

天津地域では、ここ数年不審者情報が学校に入っていません。これは、登下校時に、青パトの皆さんが、見守り活動をしてくださっているおかげもあります。子供たちには、「自分の命は自分で守る」ことと合わせて、「青パトをはじめとした、地域の皆さんの見守りに感謝しましょう。」と話しました。



ぶどう畑・工場見学

3年生が、社会科と総合的な学習で天津地域にある澤山さんのぶどう畑とアロイ工業に見学に行きました。見学の見守りに、地域ボランティアの佐田さん、神庭さん、上山さんにお世話になりました。ありがとうございました。

3年生の子供たちは、ぶどう畑の様子やぶどう栽培の大変さ、工場でどんな製品を作っているか、どんな機械を使っているかなどを、自分の目で確かめることができました。澤山さん、アロイ工業の皆さん、丁寧な対応をありがとうございました。



職員研修～タブレット活用～

6月28日(水)の放課後、効果的だったタブレット活用方法の情報交換を中心とした職員研修を実施しました。グループでの話し合いに活用する方法や、新聞作り、画像だけでその画像に関する情報を検索する方法など、様々な使い方をお互いに確認することができました。また、新聞づくり等で、ネット上の画像などを使用する際には、著作権についても合わせて指導していくことの必要性についても話題になりました。

